

4月18日：証券株がしっかりと続伸

昨日18日(火)は証券株の堅調に支えられ、上昇して終えた。

ホーチミン市場では、VN指数は0.11%上昇し、1,055.02ポイントで引けた。

同指数は月曜日、0.09%上昇し1,053.81ポイントで引けていた。

市場には安心感が広がり、226銘柄が上昇したのに対し、下落は153銘柄だった。

ホーチミン市場の出来高は5億40百万株で、売買代金は9.6兆ドン（約4億8百万ドル）だった。

ホーチミン市場の時価総額と流動性の大きい上位30銘柄で構成するVN30指数は、0.04%下落し1,064.55ポイントで引けた。14銘柄が上昇し、13銘柄が下落、3銘柄は変わらずだった。

引けにかけて証券株が上昇した。VNダイレクト証券(VND)、サイゴン・ハノイ証券(SHS)、ベトキャピタル証券(VCI)、アグリバンク証券(AGR)、APG証券(APG)などの証券株の上昇に下支えされ、VN指数も上昇した。

「流動性の減少は、下値での売りは多くなく、買い資金の流入も慎重なので、市場が小康状態になっているに過ぎないことを示している」とベトドラゴン証券のアナリストは述べた。

「引けにかけて相場が回復したことで、今後の取引で回復する可能性があることが期待できる。しかしVN指数が1,060~1,065ポイントの抵抗線付近に接近すると売りが増え、売りの圧力も依然としてくすぶっていることから、回復の水準は緩やかだろう」と同社では見ている。

「よって投資家は短期的な売りと買いの動向を注視するとともに、ポートフォリオの組み入れを適切な水準に保つ必要がある。同時に、相場の上昇時には短期的な利益を確定するか、リスクを最小化するため売却することも検討すべきだろう」としている。

ハノイ取引所では、HNX指数が0.78%上昇し208.25ポイントで引けた。

同指数は月曜日は0.3%下落し206.63ポイントで引けていた。

出来高は 7,430 万株、売買代金は 1 兆ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。